

News Release

2025 年 10 月 15 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 10 月 15 日に発表した英語のプレスリリースを BASF コーティングスジャパン合同会社が日本語に翻訳・編集したものです。

BASF コーティングス、2025-2026 年自動車カラートレンド予測 「DRIVING THE PROXY (プロキシを駆動する)」を発表

- インスピレーションを行動へと移す過程を探究し、アイデアと感情を現実につなげるコレクション
- サステナビリティとイノベーションにより、視覚的な洗練度を継続的に向上
- 3 地域のカラーは、それぞれ異なる世界的な変化と進化する感情的ニーズを反映

BASF (本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)のコーティングス事業本部のデザイナーたちは、2025-2026 年自動車カラートレンド 予測を発表しました。

「DRIVING THE PROXY(プロキシを駆動する)」と題したこの新しいカラーコレクションは、創造的なインスピレーションや影響力が、様々な源泉からどのように得られるかを探り、自動車業界におけるデザイン上の意思決定をダイナミックに形作るためのプロキシ(代理)として機能します。

サステナビリティとイノベーションは引き続きこのコレクションの中心的な要素です。一部のカラーには、再生可能またはリサイクル原料が使用されており、さらに、多色顔料や金属調などの質感の革新により、視覚的な洗練さも高めています。

全体として、DRIVING THE PROXY は、滑らかで緻密な表面と控えめな輝きが特徴の、洗練された様々なソリッド調カラーを展開するとともに、赤みの色相からモーブや

ニュアンスのあるブラウンなど、温かくより情感豊かな色相へと明確に移行しています。

世界中の自動車 OEM は、BASF コーティングス事業本部によるカラーに関する洞察を将来のモデル開発の指針として活用しており、一部のカラーは、早ければ 2 年以内に市場に登場すると予測されています。

45 色で構成される今回のコレクションでは、BASF コーティングス事業本部のカラーデザイナーたちは、EMEA(欧州・中東・アフリカ)、アジア太平洋、米州の 3 つの地域における、それぞれの文化的・技術的变化を反映したキーカラーを選定しました。

EMEA(欧州・中東・アフリカ)のキーカラー

TESSERACT BLUE (テッセラクト ブルー) 次元を拡張するブルー

TESSERACT BLUE は、先進的な干渉顔料によって表現された、グリーンとバイオレットのハイライトをもつ鮮やかなブルーです。幾何学的な抽象表現から着想を得た TESSERACT BLUE は、知覚に訴え、視覚的な奥行きによる多次元的な表面体験を生み出します。

「気候変動や社会構造の変化など、複雑に絡み合うダイナミクスは、象徴的かつ目に見える空白を生み出し、社会規範の再構築を促していることがわかります。この文脈において、TESSERACT BLUE は視点の転換を表しています。すなわち、空白を埋めることです。包括的で未来志向の解決策、自動車の外観に、調和のとれた未来像を提示します。」と、BASF コーティングス事業本部の自動車カラーデザイングローバル責任者であるマーク・グートヤールは述べています。

アジア太平洋地域のキーカラー

PHYGITAL MAGNETAR (フィジタルマグネター) 加速的な進歩と静かな外観

PHYGITAL MAGNETAR は、明るいホワイトのハイライトをもつ温かみのある滑らかなメタリックカラーです。このカラーは、絶え間ないイノベーションへの追求と、穏やかさと明瞭さへの強い欲求という、この地域が抱える二面性を捉えています。先進的な 2 コート技術を使用して、物理的領域とデジタル領域を滑らかな金属調意匠で橋渡しします。

「アジア太平洋地域における、イノベーション疲れをめぐる継続的な議論に着想を得ました。PHYGITAL MAGNETAR は、穏やかで表情豊かな外観によって、イノベーションを感じさせない空間を作り出し、デザインが静かに未来を再定義します。」と、BASF コーティングス事業本部アジア太平洋地域の自動車カラーデザイン責任者である松原千春は述べています。

米州のキーカラー

AUXETIC NEUTRAL (オーセチック ニュートラル) 中立がアイデンティティになる場

AUXETIC NEUTRAL は、文化的なインスピレーションを受けた豊かで深みのあるブラウンで、中立性を大胆なデザインステートメントとして再定義します。そのすっきりとした輝きは、鮮やかさと奥行きを加え、触感的で多次元的な表面を作り出します。カラーはファッションと工業デザインの両方から影響を受けています。

グートヤールは次のように述べています。「今日のデザインは、個人の著作権よりも、集団的な表現が重視されています。中立性、さらには匿名の著作権さえも、包括性を実現するための手段となり、多様な意見が共存し、アイデンティティを形成することを可能にしています。AUXETIC NEUTRAL は、こうした時代を乗り越えるために望ましい品質を反映しており、複雑さや開放性を受け入れながらも、独自性があり、記憶に残るカラーです。」

BASF コーティングスのカラーの専門性

BASF コーティングス事業本部のカラーデザイナーたちは、毎年、ファッション、消費者行動、テクノロジー、自然など、世界的なトレンドを探究しています。これらの洞察を基に、自動車のカラートレンド コレクションを創造し、カラー、表面、意匠に関する新しいコンセプトの開発を導いています。これらの洞察は、世界中の自動車 OEM による将来のモデルのデザインや計画に活用されています。BASF コーティングス事業本部は、デジタルおよびバーチャルカラーツールの専門知識を提供し、お客様の業務を支援しています。注目すべき事例として、過去のコレクションで紹介された「BURSTING BLUE(バースティング ブルー)」があり、現在では、市場で広く採用されているカラーとなっています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASFのコーティングス事業本部について

BASFのコーティングス事業本部は、メタル、プラスチック、ガラス基板など幅広い産業における革新的な製品の開発、生産、販売を行っています。これらのポートフォリオは、新しい市場や事業開発を目指す Innovation Beyond Paint(塗料を超えたイノベーション)プログラムによって提供してまいります。私たちは、先進的なパフォーマンス・ソリューションを創造し、世界中のパートナーのニーズを満たすために、パフォーマンス、デザイン、新しいアプリケーションを推進しています。BASFは、ヨーロッパ、北米、南米、アジア太平洋地域の拠点のネットワークを活用することで、お客様の利益のために、専門的でグローバルなチームのスキル、知識、リソースを提供しています。2024年におけるBASFコーティングス事業本部の世界の売上高は約38億ユーロでした。

私たちは情熱と専門性を原動力に、これまでのコーティングスビジネスを超えて、真の新しい価値を創出します。詳細は www.basf-coatings.com (英語) および [LinkedIn](#) をご覧ください。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション&ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024年のBASFの売上高は653億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASFの詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。